

語学検定 I ・ II

Language Proficiency Tests I ・ II

素養科目 全学年／ 1 単位または 2 単位 選択科目

科目責任者 竹内 典子 (英語・英文学)

■ 教育目的

- ・これまで培ってきた英語の力を客観的に評価し、今後の英語学習の目標を定める。
- ・将来の海外留学、海外研修、大学院進学、外資系企業への就職などに対する関心を高める。

■ 学習到達目標

- ・ TOEIC 600 点、TOEFL-ITP 500 点相当のスコアを達成する。

■ 単位認定方法

大学の授業科目以外で行われる語学検定試験において、所定の成績を修めた場合、語学選択科目の単位として、2 単位まで認定する。

- 「語学検定 I」(1 単位)の単位として認められる語学検定試験とその成績
TOEIC 600 点以上
TOEFL-ITP 505 点以上 (TOEFL-iBT 64 点以上)
英検準 1 級 独検 3 級
- 「語学検定 II」(1 単位)の単位として認められる語学検定試験とその成績
TOEIC 700 点以上
TOEFL-ITP 540 点以上 (TOEFL-iBT 76 点以上)
英検 1 級 独検 1、2 級

■ 準備学習 (予習・復習)

予習：各自に合った TOEIC あるいは TOEFL の参考書を一冊仕上げる。

復習：英語に対する興味を持ち続け、各自の弱点を補強する勉強方法を計画する。

■ 成績評価方法

- 過去 2 年間の語学検定試験の結果を単位認定の対象とし、評価は TOEIC 750 点以上、TOEFL-ITP 550 点以上、TOEFL-iBT 80 点以上は評価を「S」とする。それ以外の評価は「A」とする。ただし、評価の変更は最初に取得した年度までとする。
- 「語学検定 II」の単位を取得した場合、「語学検定 I」の単位も認定される。

(注) TOEIC：Test of English for International Communication (財団法人国際ビジネスコミュニケーション)

公開テストおよび IP (団体特別受験制度)がある。

TOEFL：Test of English as a Foreign Language (財団法人国際ビジネスコミュニケーション)

英 検：「実用英語技能検定試験」(財団法人日本英語検定協会)

独 検：「ドイツ語技能検定試験」(財団法人ドイツ語学文学振興会)